

令和5年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立倉敷商業高校学校		
実践者等	近藤 昌幸	実践日	令和5年6月8日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)	商業・簿記(財務諸表の作成)		
対象生徒(学年等)	商業 1学年		
育成を目指す資質・能力	<input type="checkbox"/> 知識・技能(技術) <input checked="" type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	<input type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input checked="" type="checkbox"/> 思考やデータの可視化 <input checked="" type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input checked="" type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 思考を促す活用 <input type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化や省力化 <input type="checkbox"/> その他()	
	家庭学習	<input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 探究 <input type="checkbox"/> 反転学習 <input checked="" type="checkbox"/> 補習・定着	

実践の内容

【授業】

(1) 「財務諸表を作成する目的を理解し、説明できるようになる」ことを本時の目標として授業を行った。理論と実務とを関連付けて理解させるために実際の企業2社の財務諸表を用いた。



(2) 企業の財務諸表から気づいたことを Google forms に記入させる。(個人) 意見をホワイトボードの Google スプレッドシート で共有する。(全体)
 - Quizlet を利用し、勘定科目の英語表記を確認させる。
 - 財務諸表の金額を英語表記の表へ入力させる。

Google スpreadsheet へグループごとに入力させる。表とグラフによりクラス全体で経年比較(4年分)、企業間比較(2社)ができるようにする。
 - 財務諸表やグラフを確認しながら、財務諸表から何が分かるか考えさせる。
Google Jamboard を利用し、発表させる。個人→グループ→全体

(3) Google forms に「何のために財務諸表を作成するのか説明してみよう」を入力させ、達成度を確認する。

(4) 財務諸表の作成方法を確認し、財務諸表を作成する目的を理解させ、学習内容をまとめた。

(5) Google forms で本時の授業の「振り返り」を行い、提出させる。
 (本時の目標がどの程度達成できたか、気づいたこと、新たな疑問など)

【本時と家庭学習との連動】

(本時後) Google forms で確認テストを行い決算の作成方法について理解度を確認する。